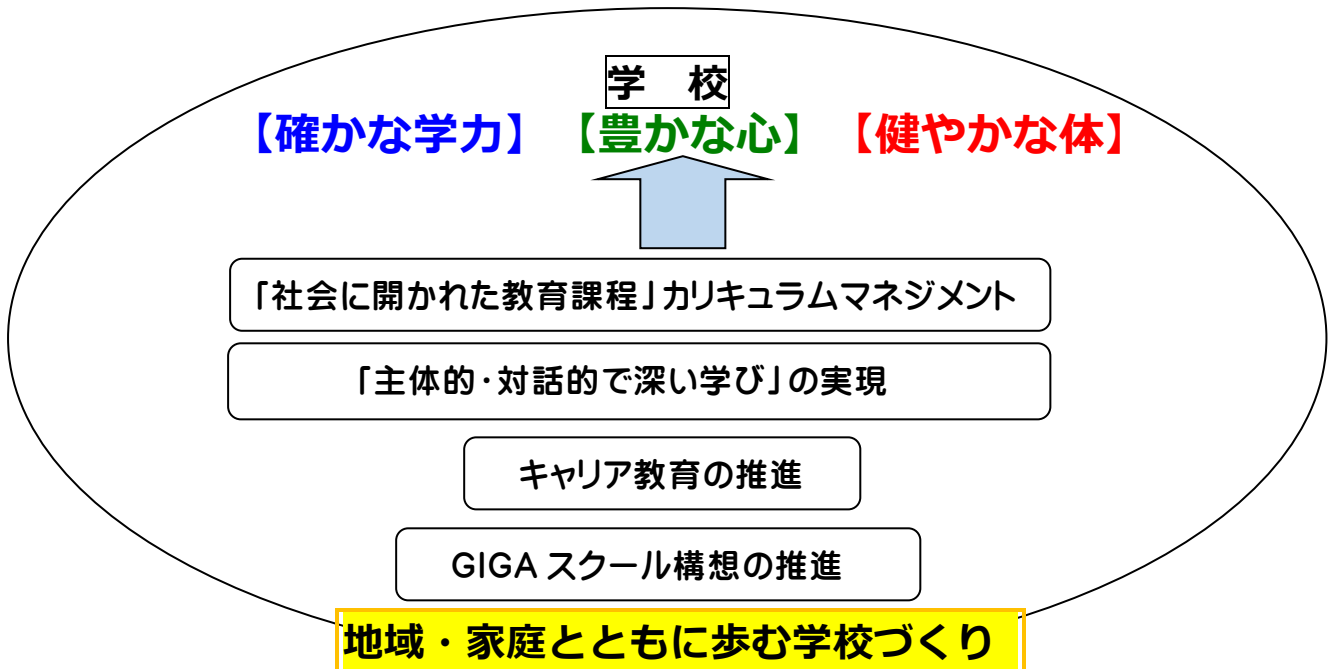


1 基本構想

生きる力の育成



2 学校教育目標

豊かな心と丈夫な体を持ち、自ら学び、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する児童の育成

3 目指す児童像・・・なつみの子

な にごとも 深く考え よく学ぶ子供 (知育)
つ よく たくましく 身体をきたえる子供 (体育)
み んな 明るく 助け合う子供 (徳育)

重点目標

	よく学ぶ子供 (知育)	身体をきたえる子供 (体育)	助け合う子供 (徳育)
全	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の習慣をつける 話をよく聞く 	<ul style="list-style-type: none"> 外で遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> みんなと仲良くする
ひまわり	<ul style="list-style-type: none"> 話を最後まで聞く 自分でできることをふやす 意欲的に学習に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> 外で元気よく遊ぶ 進んで運動する 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と仲良くし、助け合う 力を合わせてやりとげる
あおぞら	<ul style="list-style-type: none"> 話を最後まで聞く 課題に根気強く取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> 外で元気よく遊ぶ 進んで運動する 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と仲良くし、助け合う 力を合わせてやりとげる
低学年	<ul style="list-style-type: none"> 話を最後まで聞く はっきりと話す 課題を最後までやる 	<ul style="list-style-type: none"> 外で元気よく遊ぶ 進んで運動に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と仲良くし、助け合う ルールを守る
中学年	<ul style="list-style-type: none"> 話をよく聞き、自分の考えをもつ よく考えて進んで表現する 学習に対して、意欲的にねばり強く取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> 安全に気をつけて、元気よく遊ぶ めあてをもって運動する 	<ul style="list-style-type: none"> 友達のことを思いやり進んで親切にする ルールを守る 力を合わせてやりとげる
高学年	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えと比べながら、話を聞く 自ら課題を見つける 課題に向けて意欲的に取り組み学習の方法を身につける 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の体力や能力を知り高めていく 目標に向けて、自分のめあてをもって運動する 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の立場を考えて行動する 自分と異なる意見や立場を尊重する まわりの人と助け合い協力する

4 経営の重点

◇「生きる力」の育成

(1) 確かな学力を育む

- ◎「分かる授業」の構築。
 - ・生徒指導の機能を生かした学習指導の充実・〈自己決定の場〉〈自己存在感〉〈共感的人間関係〉（当たり前を褒める。間違いを生かす。認め合う。）
 - ・授業で明らかにしていくべき内容…
 - 〈何を学ぶか〉 - 育む資質・能力の明確化
 - 〈どのように学ぶか〉 - 主体的・対話的で深い学び
 - 〈何ができるようになるか〉 - 知識・技能 思考力・判断力・表現力
- 調べ学習、観察・実験、話し合い、発表、レポート作成、説明等の学習活動の充実を図る【GIGA スクール構想の推進：ICT の活用】
- 体験的な学習や問題解決的な学習の充実を図る。
- ◎家庭と連携して、家庭学習の習慣の確立をめざす。

(2) 豊かな心を育む

- ◎心を結ぶ「あいさつ」の一層の充実を図る。（学校内外共）
- 生徒指導、特別活動の指導等により人権意識や規範意識を培い、自他の生命を大切にする心の育成を図る。（相手の心の痛みが分かり、思いやりのある行動がとれる子供の育成）
- ◎特別の教科「道徳」の指導の充実や道徳の授業公開を推進する。道徳性の育成に資する体験活動の推進を図る。
- 生命を大切にする栽培活動を推進する。（低学年：一人一鉢栽培）
- ◎読書活動の推進を図る。朝の「読書タイム」の充実・かしの木文庫おはなし会の活用・学校図書館の貸出冊数増加の促進。
- ◎いじめ防止基本方針に基づく、いじめや問題行動を未然に防止すると共に、早期発見・早期対応など、一貫性のある組織的な指導を推進する。
- スクールカウンセラーの活用や関係諸機関との密接な連携を図る。

(3) 健やかな体を育む

- ◎体力向上の取り組みを推進する。（体育の授業等において発達段階や個の能力に応じて「めあて」を持たせた活動 など）
- リフレッシュタイム、夏見っ子タイムを活用して、外遊びを奨励する。
- 心身の発達に応じた食育を含む健康教育を推進する。
- ◎危険を予測し回避できる安全教育・防災教育を充実する。生活安全、整った環境の充実を図る。
- ◎清掃活動を重視する。（子供が「環境を自ら創る」という意識の向上）

(4) 特別支援教育の推進

- ◎個別の指導計画や教育支援計画を作成し、子供一人一人の教育的ニーズに対応をすすめる
- ◎特別支援学級と通常学級との交流学习や共同学習をすすめる。（インクルーシブ教育への理解と活動の充実）
- 特別支援教育アドバイザーの活用や関係諸機関との連携を図る。

(5) 発達の段階に応じたキャリア教育の推進【キャリアパスポートの活用】

- ◎全教育活動をキャリア発達（基礎的・汎用的能力）の視点でとらえなおす。
 - ◇人間関係形成・社会形成能力
 - ◇自己理解・自己管理能力
 - ◇課題対応能力
 - ◇キャリアプランニング能力
- 職業に対する憧れ等、自己の将来を思い描く指導の工夫改善を図る。

(6) 地域と共に歩む学校づくりの推進

- ◎防犯教育の充実を図る。（「自分の命は自分で守る。」）
- ◎防犯対策の充実を図る。（スクールガードの増員・PTAとの連携）
- 地域の教育力（人材、施設・設備）の活用を図る。
- ◎学校公開、学校HPや各種たより等を活用し、情報の発信を行い、共育をめざす。
- 学校評価の活用を図る。（P-D-C-A）

(7) 教職員としての資質・能力の向上

- ◎教職員としての使命と責任を自覚し、幅広い視野と豊かな人間性、高い倫理観を見につけるべく、多様な研修の機会の設定・内容の充実を図る。
- ◎校内研究の充実や特に若手教員研修の活性化を図り、授業改善等の指導力向上を目指す。
- 地域・児童の実態から新たな課題解決に向けた研修等を推進する。